

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和6年2月27日(2024.2.27)

【公開番号】特開2024-10050(P2024-10050A)

【公開日】令和6年1月23日(2024.1.23)

【年通号数】公開公報(特許)2024-013

【出願番号】特願2023-181306(P2023-181306)

【国際特許分類】

A 61K 8/365(2006.01)

10

A 61K 8/49(2006.01)

A 61K 8/37(2006.01)

A 61Q 13/00(2006.01)

A 61Q 19/00(2006.01)

A 61K 8/362(2006.01)

【F I】

A 61K 8/365

A 61K 8/49

A 61K 8/37

A 61Q 13/00 101

20

A 61Q 19/00

A 61K 8/362

【手続補正書】

【提出日】令和6年2月15日(2024.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項1】

調合された香料、または香料原料、および少なくとも1種の-オキソカルボン酸を含有する組成物であって、前記調合された香料は、水アルコール溶液であり、前記-オキソカルボン酸が、前記調合された香料、または香料原料の、光により誘発される酸化を、低減、防止および/または抑制するために十分な量で前記組成物中に存在し、前記組成物はさらに、着色剤と、ブチルメトキシジベンゾイルメタン、エチルヘキシリメトキシンナメート、エチルヘキシリサリチレート、トリス(テトラメチルヒドロキシペリジノール)シトトレートおよびこれらの混合物からなる群から選択される少なくとも1種の安定剤とを含む、前記組成物。

40

【請求項2】

前記組成物中の前記少なくとも1種の安定剤の濃度が、0.01~2質量%である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記少なくとも1種の-オキソカルボン酸が、ピルビン酸、2-オキソ吉草酸、フェニルグリオキシリ酸、2-オキソ酪酸、2-オキソ-2-フラン酢酸、-ケトグルタル酸、2-オキソペンタン二酸、オキサル酢酸およびこれらの混合物からなる群から選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記少なくとも1種の-オキソカルボン酸の前記十分な量が、前記調合された香料、ま

50

たは香料原料の 0 . 0 0 0 1 ~ 1 0 質量 % である、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 5】**

前記少なくとも 1 種の - オキソカルボン酸が、有機塩および一価もしくは二価のカチオンの塩からなる群から選択される塩として、前記調合された香料、または香料原料に添加される、請求項 1 に記載の組成物。

10

20

30

40

50